

メイプル通信 Newsletter

Maple



福岡カナダ協会広報誌
Fukuoka
Canada
Society

Vol.5



Josiane Simon's
Holiday Memory



Christmas Party 2000



Think Canada 2001
(フラワーピクニック参加者募集)



The Story of Icewine



The Canadian Experience

ごあいさつ

会員の皆さま、あけましておめでとうございます。

明るい新年、そして希望に満ちた新世紀をご家族おそろいで、健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

一昨年の秋に発足しました福岡カナダ協会も早いもので2回目のクリスマス、そして2回目の新年を迎えました。これまでに会員数も法人が100社、個人が300名を超え、活動内容も日を追って充実してまいりました。これも会員の皆さまのご支援、ご協力のおかげと感謝いたしております。

昨年の活動を振り返りますと、1月に創刊した本広報誌「メイプル通信」の定期発行、7月のカナダ映画鑑賞会、9月の協会設立1周年記念カナダ表敬訪問、12月のクリスマス・パーティーなどにより、福岡とカナダとの交流を深めることができたものと考えております。

特にカナダ表敬訪問では、会員の方々が相互に親しく交流を図りながら、カナダのすばらしい人々、自然、文化、経済にふれることができました。この経験が今後の福岡とカナダとの一層の友好親善の契機になるものと期待しております。私も改めてカナダという国の尽きることのない魅力を発見することができ、ますます「カナダファン」になりました。

さて、今年2001年は、春から夏にかけて、カナダの文化、経済等を日本全国で紹介する“Think Canada 2001”フェスティバルが開催され、

福岡においても、在福岡カナダ領事館の主催でいろいろなイベントが行われます。当協会としましては、福岡とカナダとの交流を一層深め、お互いにより多くの方々に「カナダファン」、「福岡ファン」になっていただくため、このフェスティバルに全面的に協力したいと考えております。

このほかにも、福岡とカナダとの交流を深め、両国の友好親善に寄与するための諸活動を積極的に展開してまいりますので、今後ともご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願ひいたします。

21世紀の幕開けとなるこの2001年が、会員の皆さまにとりまして、そして福岡とカナダにとりまして、すばらしい年となりますよう心からお祈りいたします。



福岡カナダ協会 会長 鎌田迪貞

Josiane Simon's Holiday Memory

Dear Fukuoka-Canada Society Members:

First, at the beginning of this new year, this new millennium, I would like to wish all of you and your family and friends peace, health, love and happiness. And to the Society, I wish a year filled with activities and fun, and an ever closer link with Canada and Canadians. Thank you all for your support in 2000, and *yoroshiku onegaishimasu* for 2001!

While I spent the 1999-2000 New Year in Fukuoka, making sure the bug did not cause trouble, eating *o-sechi ryori* and trying my hand at making *mochi*, I spent the 2000-2001 Christmas and New Year in Canada, with my family. I thought I would share with you my Canadian Christmas. Be careful as you read though. Canada is a large country, and is a cultural mosaic. As a result, not all Canadians celebrate Christmas and the new year in the same way!

For my family, Christmas is the most important celebration of the year. In addition to its religious meaning, Christmas is the time when the entire family and relatives get together. Since we live far apart, this time together is especially important.

There are Christmas lights everywhere, and when they sparkle on the snow, it is magical. On Christmas eve (that's how we call the night before Christmas), we go to Church to celebrate the birth of the Child Jesus. The mass lasts about an hour, and I always enjoy singing Christmas carols along with the choir. After the mass, my brothers and I get together at my parents' house for a meal, and then we exchange presents. Usually, Santa comes around during the mass, when everyone is away, and leaves presents under the Christmas tree... Now there are 3 little children in our family, so Santa brings even more gifts than before. Then, on the 25th, my mother, father and I get up early as we have to cook and get the house ready for lunch... My relatives on my mother's side come for lunch. Her family is relatively small, so we are only 35-40 people... Many families are much larger, as many families of my parents' generation had more than 10 children.

We have a traditional French Canadian menu for the occasion: various appetizers, followed by turkey with stuffing, meat pie, pork stew (with pork legs in it). Christmas is the only time of the year when we eat that special stew), potatoes, vegetables, salad and pickles. We put everything on the table and each take what they want. For several years now, we have been sharing the work, and everyone brings food (we decide in advance who brings what). And of course every family brings a dessert... we usually have 10 different kinds or so, all homemade: *bûche de Noël* (here you simply call it "Noël", which is the French for Christmas; *bûche* means "log", which is the shape of the cake), fruit cake, maple pie, lemon pie, raspberry pie, chocolate cake, *mousse*, *choux à la crème*, fudge... We have to use folding tables and benches to fit everyone in the same room, and we stay at the table for more than 3 hours. We talk as much as we eat! Some cousins have to leave early to go to their spouse's family for another meal, but several can stay behind and we also have dinner together, talking more and playing some games, like the ones we have been doing at the Society's Christmas party.

We continue visiting and receiving relatives and friends the week between Christmas and the New Year. The New Year is more a party, which we spend with friends or with family and relatives. In my family, it was never as big as Christmas, but in many others, they get together and sing and dance almost all night.



- together for Christmas, with my parents and my oldest niece, Cassandra

クリスマス、両親と娘のカッサン德拉と

There were lots of snow this year, so I went cross-country skiing, snow-shoeing, and even went on a dog-sled ride (my sister-in-law has seven dogs and is training them). And of course, I went for many walks, watching the snow fall.

I did not rest much, but I had a great time. I hope you did, too! Happy New Year - Bonne et heureuse année!

- winter fun, going for a ride on Catherine's dog-sled

冬の楽しみ、キャサリンの犬でドギーリー体験



- enjoying white Old Quebec City around New Year
雪景色が美しい。
New Year の
ケベックシティ



福岡カナダ協会の皆さまへ

まず、新年そして新世紀を迎え、皆様とご家族・ご友人のご多幸をお祈り申し上げます。また、福岡カナダ協会のすべての活動的成功と、カナダ、そしてカナダ人とその交流が更に深まるごとに願っております。昨年はお世話になり、本当にありがとうございました。そして今年もどうぞ「ヨロシクオネガイシマス!」

昨年は、心配していた2000年問題のトラブルもなく、おせち料理を頂いたり、餅つきを体験しながら、福岡で新年を迎えたのですが、今年は、クリスマスから新年にかけて、故郷のカナダで、家族と過ごしました。皆さんに私のカナディアン・クリスマスをご紹介したいと思うのですが、ひとつ申し上げておきたいことは、ご存知の通りカナダは大きな国で、それだけたくさんの文化が集まっているので、必ずしも全てのカナダ人が私と同じようにクリスマスと新年を祝うわけではありません。

クリスマスは、家族全員、そして親戚一同が賑集まるといった意味で、宗教的意義も含め、私の家族にとって一年で最も大切な行事なのです。家族が離れて暮らすようになってからは特に大切なものとなりました。

街のあらゆる所でクリスマスライトが輝き、雪景色に映し出されるその様子はマジックのようです。クリスマスイブには教会へ行き、キリストの誕生を祝します。1時間ほどあるミサでは、聖歌隊に合わせてクリスマスキャロルを歌います。その後、兄と私は両親の住む家へ向かい、食事を楽しんだ後はプレゼント交換が待っています。通常、サンタクロースは皆が家を離れるミサの時間頃にやってきて、クリスマスツリーの下にプレゼントを置いていきます。現在私の家族には4人の小さな子供がおり、サンタさんは以前にも増して大忙です。それから25日のクリスマスの日には、母、父そして私は起き早をし、ランチの用意をします。母方の親戚がランチに加わるのですが、彼女らの家族は比較的小さく、私たちは全員で35~40人くらいにしかなりませんが、私の両親の時代では子供だけで10人以上になったように、多くの家族は今でももっと大勢が集まるのです。

この日私たちは伝統的なフレンチ-カナディアンメニューを頂きます。様々な種類の前菜に始まり、色々なものが詰められたターキー、ミートパイ、ポークシチュー(この中には豚足が入っていて、この特別なシチューを食べる時はクリスマスの日だけなのです)、ポテト、野菜、サラダ、そしてピクルスなど豊富です。これらの料理を全てテーブルの上に並べ、好きなものを好きなだけお皿に取ります。ここ数年は皆で分担し、それぞれが何か料理を持参するようにしています。(前もって誰が何をもつてくるのかを決めます)。もちろん各家庭では、それぞれのデザートを必ず持ってきてますが、全てがホームメイドで、10種類ほどになります。ブッシュ・ド・ノエル(日本では簡単に「エル」で知られていますが、これはフランス語で、ブッシュは「丸太」という意味で、これに基づきケーキの形が丸太のようになっているのです)、またフルーツケーキ、メープルパイ、レモンパイ、ラズベリーパイ、ショコレートケーキ、ムース、シュークリーム、ファッジ(柔らかくてとても甘いキャラメル)など種類はこんなにあります。折りたたみ式のテーブルや椅子を出すなどして、皆が同じ部屋で、お腹がいっぱいになるまで会話を楽しめます。いくつかの家族は裏側または夫側の家族とのところへ行くため、早めに帰りますが、その他の人はそのまま残り、もっと話をしたり、ゲーム(昨年の協会のクリスマスパーティーで行ったようなゲームです)を楽しんだりして、ディナーまで一緒に過ごします。

このようにして、クリスマスからNew Yearシーズンにかけて、私たちは親戚の家を行き来するのです。New Yearのパーティーは更に盛大で、これもまた、友人や家族そして親戚と過ごします。私の家族の場合は、他の人たちに比べて大きなパーティーではありませんが、ほぼ一晩中、歌やダンスで盛り上がります。

今年はたくさん雪が降り、私はクロスカントリースキー、スノーショーリング、そして犬ぞり(義理の妹がトレーニング犬を7匹育てています)も体験をしてきました。そしてもちろん歌頃も楽しみ、美しい雪にひたりました。

今日は、あまりゆっくりできませんでしたが、とても素敵な時間を過ごせました。会員の皆さまも素敵な時間を過ごせたと信じております。

Happy New Year—Bonne et heureuse année!

Christmas Party

福岡カナダ協会
クリスマスパーティー

2000年12月4日(月)

December 4, 2000

2000年最後を締めくくるイベントとして、福岡カナダ協会クリスマスパーティーを12月4日(月)に博多埠頭ペイサイドプレイスで開催し、会員、そのご家族、ご友人の方々と福岡在住のカナダ人総勢230人が参加し、歌にゲームにと、カナダスタイルのパーティーを満喫しました。

鎌田迪貞会長のご挨拶に続き、在福岡カナダ領事館ジョシアン・シモン領事のご挨拶、乾杯の後、シモン領事、Father Yelie(イエル神父)、Sister Moreau(スター、モロー)、Father Koike(Scott 神父)、その他カナダ人参加者の皆さまで、聖歌をご披露くださいました。そんなしつとりとした雰囲気の中、カナダ人会員Mr.Francisco LOPEZ(フランシスコ・ロペス氏)扮するサンタクロースが会場内に登場し、クリスマスプレゼントをもらった子供たちは大喜びでした。ロペスさん、本当にありがとうございました。

今回、大変好評だったのが、カナダ・トロント大学上級演奏家コースを修了され、世界で活躍するマリンバ奏者吉田ミカさんの演奏と、世界的なカナダのバーカッションアンサンブル「ネクサス」のメンバー、Mr. Bob Becker(ボブ・ベッカー氏)の演奏するMbira(ムビラ)。そのすばらしい音色は、参加者の皆さまの心を捉え、会場内は一気にクリスマスマードに染まりました。

そして、シモン領事考案のゲームとクイズで会場内の熱気は最高潮に。豪華な賞品を勝ち取られた参加者の皆さま、おめでとうございました!

加藤竺子副会長のご挨拶で幕を閉じ、参加者の皆さまはプレゼントを片手に会場を後にされました。

最後になりましたが、当日MCを担当してくださいましたカナダ人会員、Mr.Maxner Wayne(マックスナー・ウェイン氏)、カナダ領事館の原典子さん、そして景品をご協賛くださいました皆さま、当日ボランティアとしてお手伝い頂きました皆さま、また差し入れをしてくださいました皆さんに、この節面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

(写真は(株)住宅九州新聞の田中昌信様のご提供です)



「Think Canada 2001」のご案内

前号でも申し上げましたように、カナダ大使館、そして日本各地のカナダ領事館は、今年4月～7月に日本全国で開催されるフェスティバル・イベント「Think Canada 2001」に向かって、着々と準備を進めております。文化、貿易、そして社会、政治関連と様々なテーマに基づいた100を超える催し物の開催により、カナダの優れた側面を幅広くご紹介していきます。

これらのイベントは、あらゆる分野において開催されます。

*全国の主なイベント

- カナダ食材、世界各国のビール・ワインフェア
- 観光事業、教育や産業に関するイベント
- ベンチャー・キャピタルセミナー、投資セミナー
- カナディアンテクノロジーの展示品をのせた名古屋への艦船寄港

*福岡での主なイベント

●カナダフードフェア

- ・リーガロイヤルホテル小倉：4月1日(日)～4月30日(月)
- ・ホテル日航福岡：4月15日(日)～5月30日(水)
- ・ホテルオークラ福岡：6月1日(金)～6月30日(土)
- ・ホテルニューオータニ博多：6月1日(金)～8月31日(金)

●カナダ家具展示会(住宅フェアの期間中)

●明治屋産業が行うカナディアンフェア(5月25日～27日)

●ワイン試飲会(5月12日)

この他にも教育に関するイベントやカナダの料理講習会、建築セミナー、そしてカナダ映画の鑑賞会なども進んで企画してまいりたいと考えております。これらのスケジュールがまとまり次第、皆さまにご連絡したいと思います。

それから皆さん、待ちに待った「シルク・ドュ・ソレイユ」が福岡へやってくる日はすぐそこですよ！

また、海の中道で開催されます、「フラワーピクニック」の市民参加のコーナーにぜひ参加してみませんか。下記の募集要項をご覧になり、ガーデニングを体験したいあなたは、ぜひご応募ください！

これらのフェスティバルは、カナダ・デーの7月1日(日)、閉幕ガラ・レセプションをもって終了いたします。このレセプションはまた、領事館の10周年を記念するものであります。時が経つのは早いものですね！

これらのイベントで皆さまにお会いできることを心より楽しみしております。

カナダ領事館 領事 ジョシアン・シモン

フラワーピクニック参加者募集のお知らせ

期間：3月24日(土)～5月6日(日)

3月24日(土)から5月6日(日)に海の中道海浜公園にて行われる「フラワーピクニック2001」のガーデニング市民参加コーナーで、「CANADA」をテーマとしたフラワーガーデンと一緒に作ってみませんか？ガーデニングが趣味の方、挑戦してみたい方、どなたでも結構です。このコーナーは体験参加型のコンクールになっており、優秀作品には賞状・記念品が贈られます。参加ご希望の方は、住所・氏名・電話番号・参加人数を福岡カナダ協会事務局(TEL/FAX:092-271-2203(電話は10:00～17:00)、e-mail:canadas@sage.ocn.ne.jp) 佐藤まで御連絡ください。応募多数の場合抽選とさせて頂きます。皆様の参加をお待ちしています。

Think Canada 2001
Pensez Canada 2001



Think Canada 2001

As mentioned earlier, Canada's missions in Japan are gearing up for Think Canada, a festival scheduled to take place across Japan from April to July 2001. Think Canada 2001 will demonstrate Canada's strengths and capabilities with dozens of cultural, commercial, social and political events across the country. Events cover virtually every sector: Canadian food, beer and wine events held throughout the country; tourism, education and consumer products events; venture capital and investment seminars; a naval visit to Nagoya including an onboard showcase of Canadian technology - the list goes on and on!

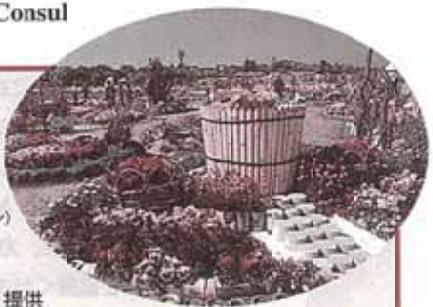
In Fukuoka, several hotels have agreed to hold a Canada Food Fair during the festival period:

- Rihga Royal Hotel Kokura April 1-April 30
- Hotel Nikko April 15-May 30
- Hotel Okura - June 1- June 30
- Hotel New Otani July 1 - August 31

There will also be a Canadian furniture fair throughout that period at House of Dreams, a Canadian Fair at Meijiya Sangyou (May 25-27), and a wine-tasting event (May 12). We also hope to have an education fair, a cooking workshop, a construction seminar, and plan to show some Canadian movies. We will send you a more detailed schedule when the events are finalized. And do not forget the Cirque du Soleil which is coming to Fukuoka very soon! We are also looking at a Canadian Corner at Uminonakamichi's Flower Picnic. Please see the separate section on this. If you like gardening, join us! The Festival will close with a Gala Dinner for Canada Day on July 1. It will also be a way of celebrating the Consulate's 10th anniversary. Time flies! I hope to see you at this and other events!

Canadian Consulate

Josiane Simon, Consul



●市民参加花壇
(市のフラワーガーデン)

○参加費：無料

○花苗：公園より提供

○花壇の広さ：約5m

○植込作業日：3月17日(土)～3月20日(火)(のうち1日)

○点検日：4月15日(日)又は23日(月)(どちらか1日)

*現地での作業は、植込みと点検の2日のみです。

○募集グループ数：4グループ

○募集締め切り：2月13日(火)

*お友達同士、ご家族など、形態や人数に規定はありません。



アイスワイン

大自然が生み出す宝物

厳しい寒さでブドウが氷結し、果実の水分を自然除去させ、天然の果糖だけを残しそれを一気に収穫し、一気に搾る。氷結したぶどう…それがアイスワインになるのです。このため年間に作られるのは、極わずか。春に作付けし、収穫は真冬の「ある一日」だけ。この日を逃したらアイスワインは誕生しません。カナダの大自然が生み出すこの宝物を、ご紹介しましょう。



◆世界で生産できる地域は限定されている

アイスワインを作ることができる地域は世界の中でも限られた地域だけです。アイスワインの発祥の地はドイツで、そのほかにはオーストリアとカナダのみ「法的」に作り上げることができます。ワイン製造の技術と、乾燥した気候、真冬の寒さなど、きわめて特殊な気候条件、地質条件が揃わないとアイスワインを作り出すことができません。

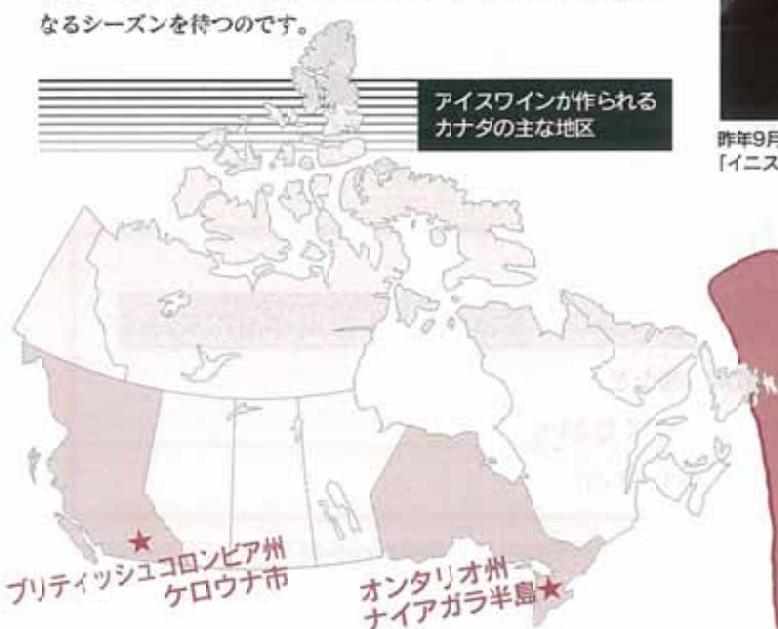
◆カナダはワイン先進国

1867年建国という若い国のカナダには世界から多くの移民が集まっています。特にヨーロッパ各国からの移民が多く、その中に長年ヨーロッパで培ったワイン技術を持った人々が多くいます。わざわざカナダでワインを作りたいために移民する人もいるくらいです。アイスワイン作りにおいては、世界中で一番美味しいアイスワインが作れる地域はカナダである、そういう人もいるくらいです。

◆熱い夏と寒い冬

春に植えられたブドウは、長い日照時間と恵まれた土壌によって生育します。乾燥した夏の熱さによって、ブドウは育っていくのです。通常のワインは9月から収穫作業が始まります。アイスワインになるためのブドウは、秋が過ぎ冬を待つのです。12月になると「レイトハーベスト」といわれる種類のワイン製造のためのブドウが収穫されます。アイスワインの一歩階前の甘口ワインがレイトハーベストです。アイスワインのブドウはその後、寒さが厳しくなるシーズンを待つののです。

アイスワインが作られる
カナダの主な地区



◆収穫のタイミング

12月になると、ワイナリーのオーナーは天気予報とニラメッコの日々を読みます。マイナス10度以下の寒い日々が10日前後続くことが、美味しいアイスワインを作るコツなのです。暖冬ですと甘さが少ないアイスワインになり、厳冬の場合は甘いアイスワインになるのです。厳しい寒さによってブドウの果実に含まれる水分が無くなり、果糖が甘味を増す頃が収穫のタイミングとなります。収穫は早朝4時くらいからスタートし、太陽がブドウ畠を照らす頃には終了させます。

◆こうして出来るアイスワイン

収穫されたブドウは、カチカチに凍っています。そのままの状態で凍ったブドウは搾られるのです。搾り取られた液体がアイスワインの原液なのです。じっくり熟成させ、琥珀色の液体に変わるまで、数ヶ月の時間を要します。約半年後にはアイスワインに生まれ変わります。



昨年9月のカナダ表敬訪問団が訪れたオンタリオ州
「イニスキリンワイナリー」の畠(参加者の新上義昭さん)

★知って得するワンポイント

～カナダ産アイスワインが美味しい理由～
カナダ産とドイツ産の大きな違いは果糖度と、アルコール度だと思って良いでしょう。果糖度とは甘さの度合いで、カナダ産の方が確実に甘いのです。果糖度が高くなると、アルコール度が低くなり、脳にツンとするアルコール臭が無くなります。アイスワインを楽しむには果糖度が高く、アルコール度が低い品がいいのです。アイスワインは冷たく冷やして、食後のデザートとしてお召し上がりください。

初めてのカナダ留学

糟屋郡志免町 原田 昇(高校2年生)

2000年から2001年へと世纪が変わるそのとき、僕はカナダ・バンクーバーで2週間の貴重な体験をした。昨年12月23日の午後1時に福岡を発ち、羽田経由で成田空港へ向かった。初めての、そしてたった一人のカナダへの旅立ちとあり、僕の胸は喜びと不安とが混ざり合いドキドキしていた。

午後6時に成田を出発し、約9時間かけてバンクーバー空港に到着した。到着したのは現地時間の午前11時。17時間の時差で、体が慣れるまでかなりの時間がかかった。空港には現地のスタッフが迎えに来てくれていた。見慣れない景色に初めは緊張したが、すぐに慣れた。スタッフにダウンタウンを案内してもらい、バスの乗り方などを教えてもらった。その後お世話になるホストマザーに連れられ、ホストファミリー宅へ向かった。

家族は10歳の娘さんと、6歳のかわいい双子の男の子で賑やかだった。クリスマスの日には、ホストマザーの両親宅を訪問し、彼女のお兄さん、お姉さんも交えてクリスマスディナーを頂いた。大勢の中で僕はとても緊張し、家族の人の輪になかなか入れず辛かったが、その様子に気づいたお姉さんが特に優しく話し掛けてくれ、とても励まされた。

12月26日は「ボクシング・デー」のため祝日で、ダウンタウンへ出かけてみた。街は多くの人で賑わい、店に入るのに順番待ちをしている人も大勢いた。僕も100カナダドルでダウンコートを購入した。

12月27日から「ロブソン・カレッジ」という語学学校で英語のレッスンが始まった。学校ではすぐに友達ができとても楽しかった。日本の英語の授業では体験したこ

* 'ボクシング・デー' Boxing Day 12月26日

19世紀、イギリスが起源で、Box(箱)に小銭や小さなプレゼントなどを入れ、使用人や新聞配達の人に贈り物をする日として、カナダやその他キリスト教の国々でこの日は祝日とされている。その昔、貧しい人々が空のBoxを持ち、各家庭を訪ね、クリスマス菓子やケーキ、衣服やお金を与えられたのが元もとのストーリー。もっとも最近は必ずしも箱は使わないそうだが、贈り物をする習慣だけは残っている。

これにちなんで現在ではこの日、ショッピングモールなどではバーゲンセールが行われ、街は多くの人で賑わう。



グラントビルアイランドにて
(右側)

とのない慣用表現の実践や、本物の発音レッスンと、どれもが自分のためになったと思う。僕のクラスには、韓国、サウジアラビア、メキシコから来た生徒がいて、その生徒たちと英語を通してコミュニケーションができたことに喜びを感じた。中でも韓国人の生徒が多く、彼らから韓国語も少し習得できた。

パークロイヤル、グラントビルアイランド、ガスタウン、メトロタウン、スタンレーパーク、ハーバーセンターと色々なところを訪れ、グラウスマウンテンでスキーも楽しんだ。中でも、空気が澄んでいて見晴らしも良く、とても気持ちの良いスタンレーパークや、ダウンタウンの街が一望できる高い展望台のあるハーバーセンターはとても印象的だ。

買い物をするとき、学校の中、そしてホストファミリーとも、日がたつにつれて自分から積極的に話し掛けることができ、2週間は本当にあつという間だった。異国での英語のレッスンはとても勉強になったが、何よりこの留学でホームステイを体験してみて、家族の大切さを感じた。また、日本とカナダの良いところ、悪いところなど、色々なことを考える良い機会になったと思う。今回訪れたバンクーバーは、心地よい街だった。機会があればまた行きたいと思う。

※当協会会員 原田泰治さんのご子息です。



クラスメイトと一緒に (右から2番目)

●事務局から●

皆さんからの声をお待ちしています!

カナダに関するご意見、ご質問、カナダ旅行・留学体験記、最新情報など、会員の皆さまからの寄稿をお待ちしております。事務局までご連絡ください。

TEL/FAX: (092) 271-2203 E-Mail: canadas@ sage.ocn.ne.jp